

利用成果報告書

- 1 課題番号 R6_C21
- 2 報告者 佐藤 理亮 東京大学医学部内科学専攻
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 DNMT3A変異体を持つ急性骨髄性白血病の維持機構の解明
- 5 使用装置名 FACS Aria II, IIIu, IIIセルソーター
- 6 利用期間 令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
- 7 利用成果・実績の概要 テトラサイクリン誘導性にDNMT3A変異体を発現するマウスの造血幹細胞に別のドライバー遺伝子を導入し、急性骨髄性白血病を誘導する。その後テトラサイクリンの投与を中止し、白血病維持が起こるかを検証する。
- 8 社会・経済への波及効果 難治性疾患である急性骨髄性白血病における新規病態の解明と新規治療法の提示ができる可能性がある。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し